

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

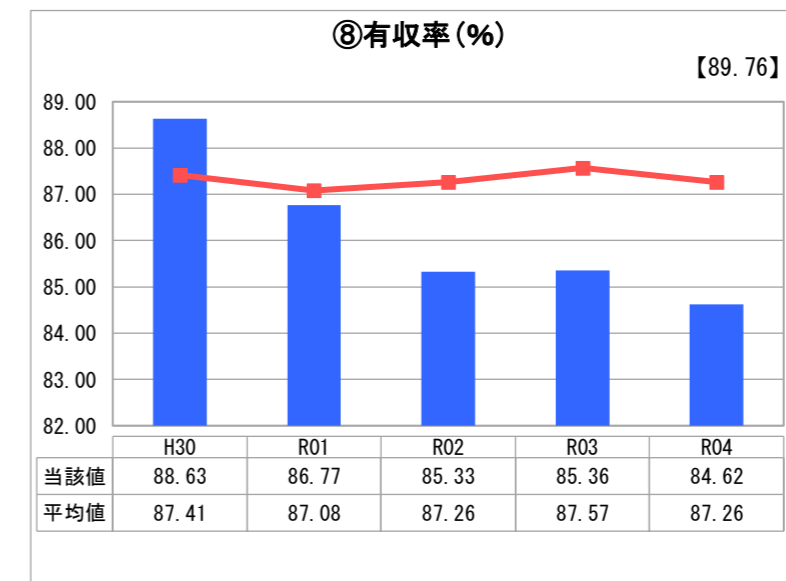
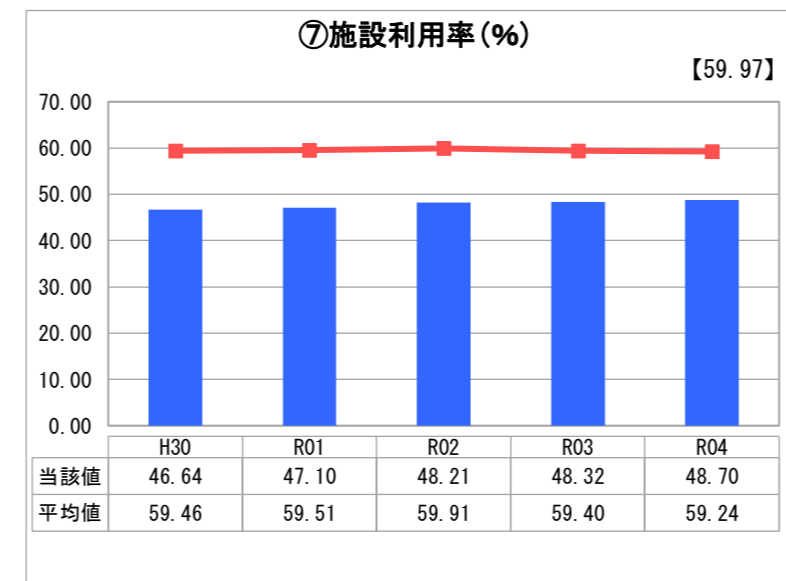
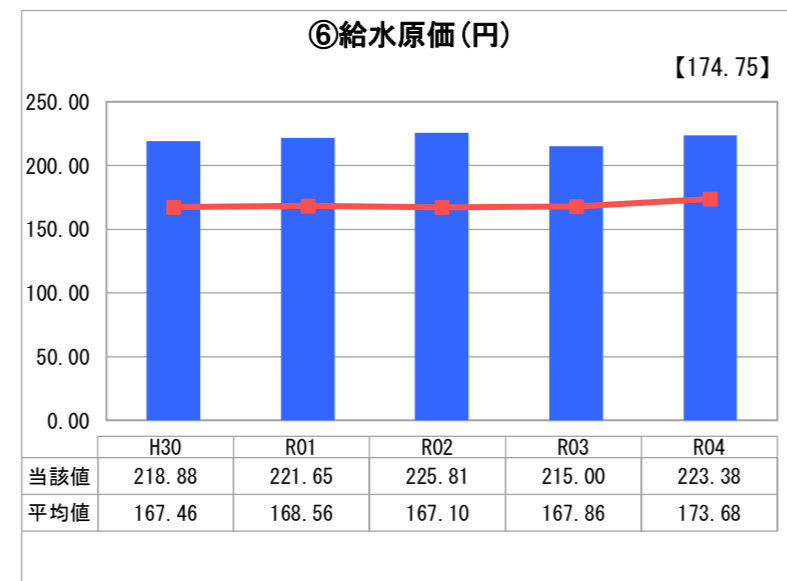
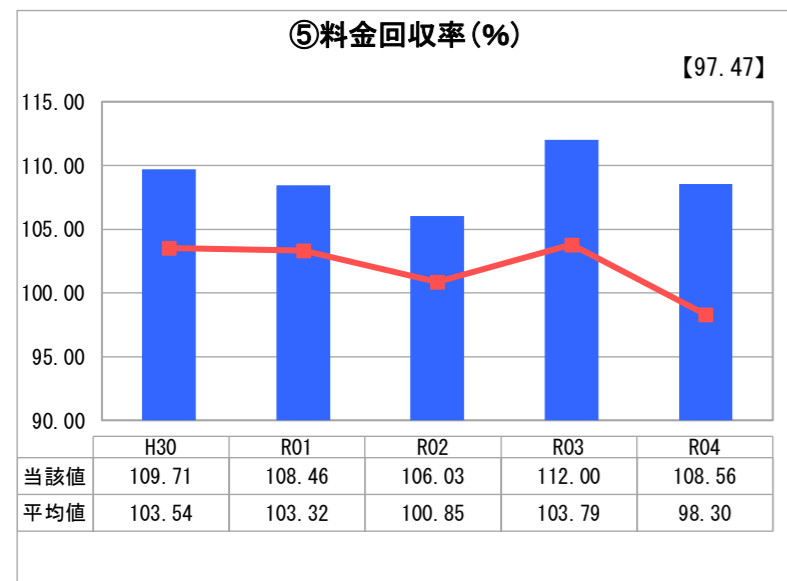
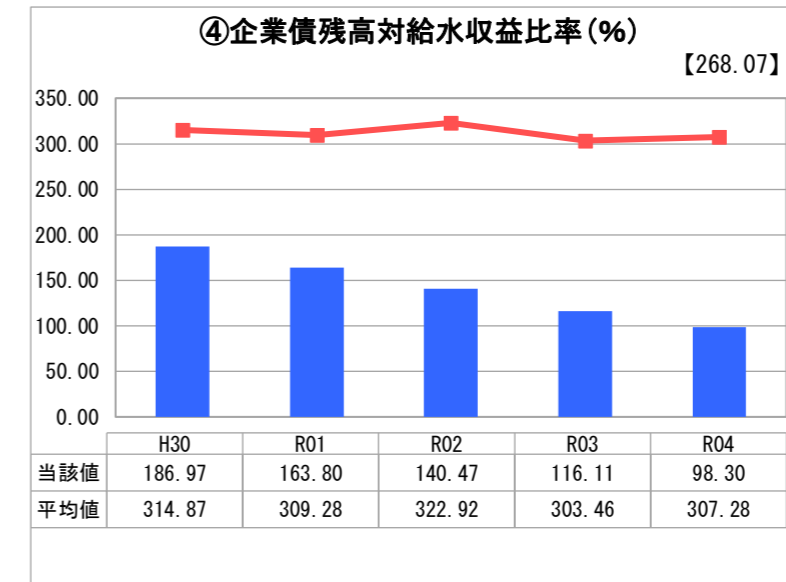
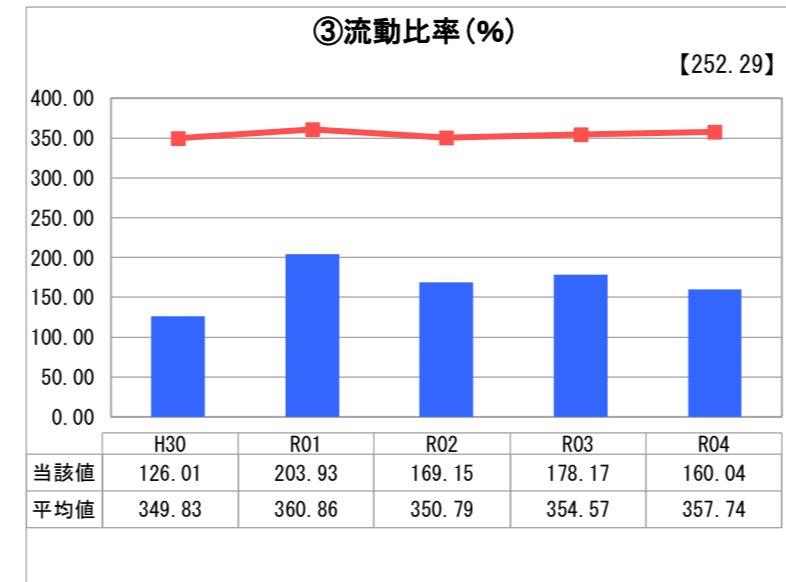
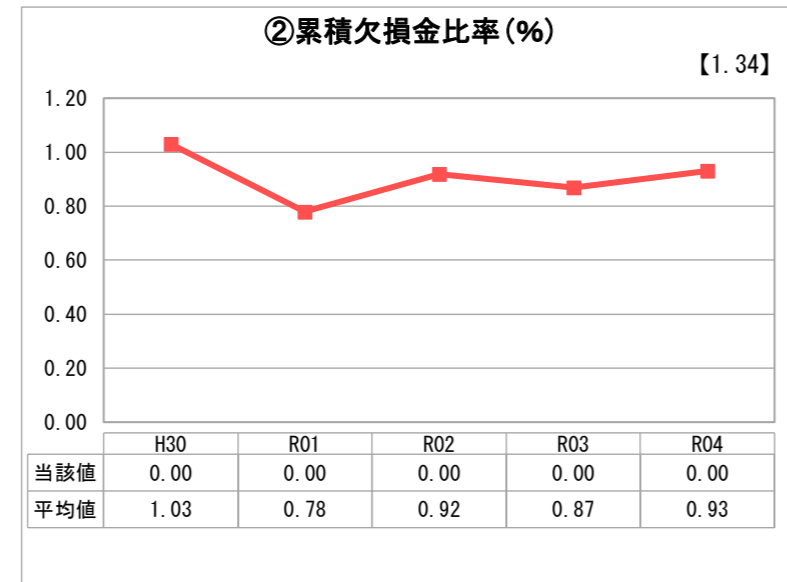
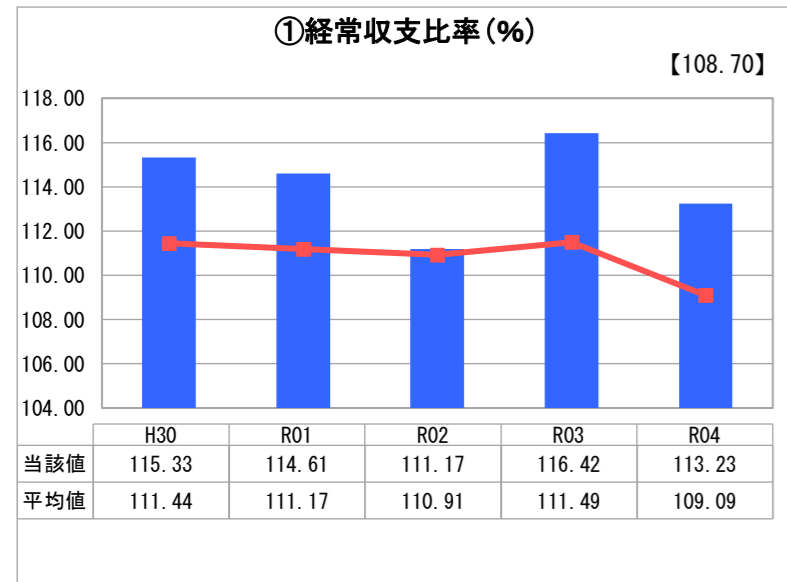
岐阜県 土岐市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	88.22	99.80	3,905	

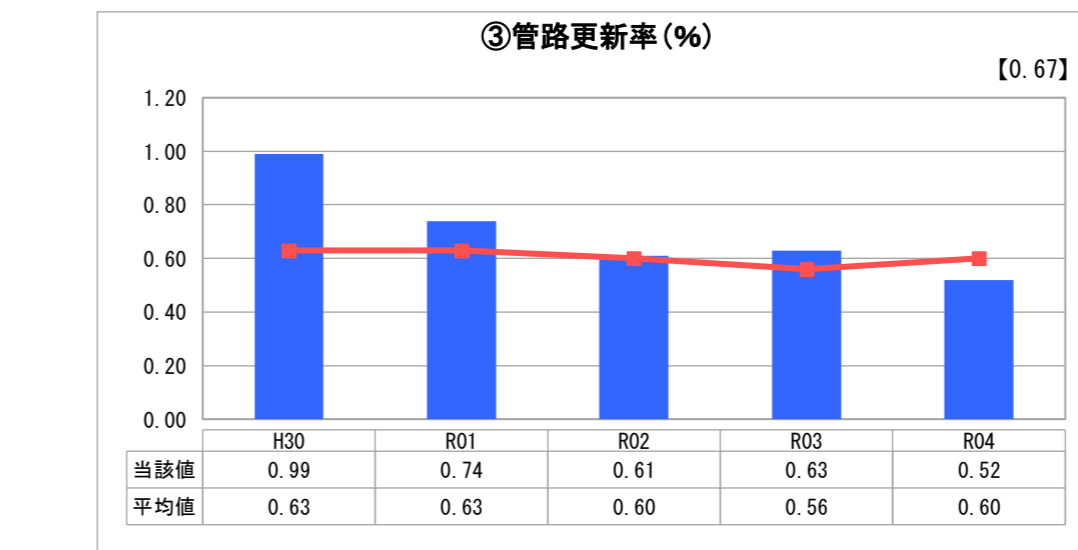
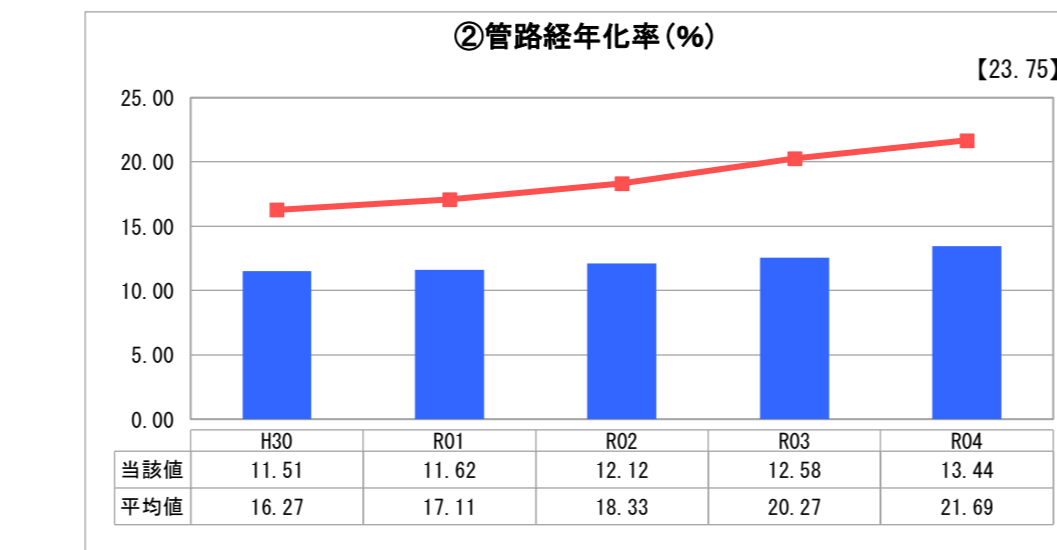
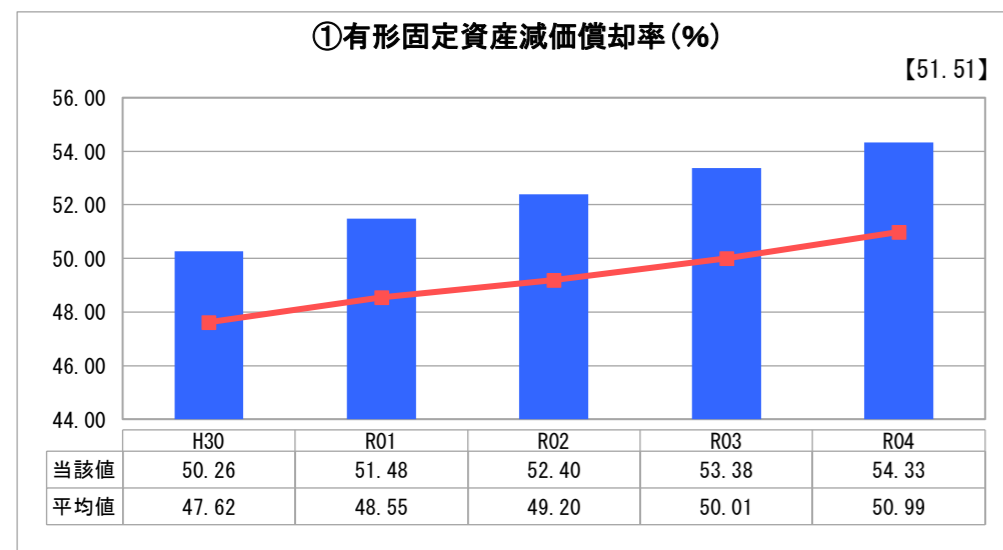
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
55,842	116.02	481.31
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
55,403	116.16	476.95

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、単年度の収支が黒字であることを示す100%を維持している。しかしながら、電気料金の高騰や配水管の修繕費が増加し、営業費用が増加したことにより、前年度から3.19ポイント減少した。今後も100%以上を維持できるように努めていく。

② 流動比率は、100%以上であり、短期的債務の支払能力を有しているといえる。

③ 企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均を下回っており、企業債の返済が順調に進んでいる。今年度は、10数年ぶりに企業債の借入をしたが、必要最低限額としたため、前年度と比較して17.81ポイント減少している。来年度以降も新病院建設に伴う工事増が続くが、経営状況を注視しつつ、借入を実施していく。

④ 料金回収率は、類似団体平均値を上回っている。100%以上を維持しており、公費負担に頼らず、水道事業を運営できているといえる。

⑤ 給水原価は、類似団体平均を上回っている。これは、受水団体であることと、市域の7割が丘陵地であり、多くの給水施設を抱えており、維持管理費が多額となっていることが要因と考えている。

⑥ 施設利用率は、類似団体平均を下回っている。今後の更新計画等で、施設規模の見直しを検討する必要があると考えている。

⑦ 有収率は、老朽化した水道管からの漏水が多く前年度と比較して0.74ポイント減少している。今後も漏水調査を適時実施し、有収率の維持改善に努めていく。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体及び全国平均を上回っている。計画的に水道管を更新しているが、固定資産全体としては、老朽化が進んでいる状況である。

② 管路経年化率は、類似団体及び全国平均と比較して低い値となっており、法定耐用年数を超えた管路延長は比較的少ないといえる。

③ 管路更新率は、類似団体と比較して低い値となっており、前年度と比較して、0.11ポイント減となっている。今年度は、管路布設替等に伴う舗装復旧工事を優先的に実施したため、類似団体平均値の0.60%を下回っている。今後も、現在の経営状況を維持しつつ、計画的に老朽管の更新を実施していく。

## 全体総括

当市の水道事業は、経常収支比率及び料金回収率ともに電気料金の高騰等の影響により、前年度と比較して減少している。しかしながら、類似団体平均を上回っており、かつ両比率ともに100%以上を維持していることから健全な経営状況を保っているといえる。

今年度は、水道ビジョン及び経営戦略の中間見直しを実施した。物価高騰という経済情勢の変化及び新病院建設に伴うインフラ整備の増といった経営環境の変化を反映させた財政シミュレーションを作成し、反映させ、経営審議会に諮った。

今後の見込みであるが、給水収益は、全体としては人口減少に伴い減少傾向で、大型商業施設の開業や市内工業の稼働が好調であり、事業用は増加の見込みである。費用は、物価高騰や修繕の増加により今後も増加傾向にある。今後も経営状態を注視しつつ、持続可能な水道事業の運営に努めていく。